

事務事業名		水道事業経営基盤向上事業			会計	水道事業				
課等名		水道業務課			事業種別	経常	開始	23	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	水道事業会計(簡易水道事業特別会計)				対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	適正な収益の確保、経費の削減により、安定した経営を継続する					営業収益(受託工事収益除く、単位:千円)	1601725		
	向上させたい上位施策の成果指標	営業収支比率 100%以上、経常損失比率 0%					営業費用(受託工事費用除く、単位:千円)	1610950		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	営業収支比率(%)			100	99.4	103.2	110	H26制度改正の影響	
	成果指標	経常損失比率(%)			0	0	102.7	108	H26制度改正の影響	
定性目標										
事業概要	これからの水道事業(簡易水道事業含む)は、人口の減少に伴う収益の減少や既存施設の老朽化に伴う更新需要の高まりなどの環境を背景に、厳しい経営状況が予測されている。今後、適正な料金設定をはじめとし、創意工夫による収益確保策や経費削減策を進め、健全で良好な経営を継続していく。									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 水道料金の見直し方針の決定(25年度方針)				1 料金見直し関連			1		
	2 地方公営企業会計制度の改正に向けた準備				(1) 庁内会議での検討			(1) 2回		
3 水道事業経常事務				(2) 議会への提示			(2) 1回			
				(3) 運営審議会への提示			(3) 1回			
				2 研修会参加、業者打合せ			2 1年間			
				3 経常事務			3 1年間			
				(1) 経理事務						
				(2) 予算・決算事務						
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		470,919	439,018	427,325	16,363	1 制度改正対応				
国庫支出金						(1) 移行作業(人件費) 60日×8h				
県支出金						(2) システム改修 6,363				
起債						2 長期整備計画見直し				
その他		15,698	13,458	13,092	16,363	(1) 業務委託 10,000				
一般財源		455,221	425,560	414,233						
人件費計(千円)②		14,304		14,304						
正規職員所要時間		4,000		4,000						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		485,223	439,018	441,629	16,363					
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成23年4月の簡易水道事業の一部統合の影響により、目標としていた営業収支比率100%を下回った。引き続き経営改善に取り組んでいく。									
改革改善の考え方	①問題点	人口減少等による料金収入の落ち込みや老朽施設の大規模改修などにより、現行料金下での安定経営は困難な状況にある。								
	②改革提案	適正な時期に適正な料金設定を行っていく。								